



障害者支援施設
就労継続支援B型事業所
相談支援事業所
外部サービス利用型
共同生活援助事業所

新葉学園
しんよう
第1・第2 拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会
薩摩川内市榑脇町塔之原4020
TEL:0996-37-2861 FAX:0996-37-2981
<http://takuyoukai.w.kobira.co.jp/>



▲B型レクリエーション(丸山公園にて)

安全で美味しい

学校給食。パンを目指して

B型事業所 業務課長 下川 明彦

新葉学園パン工場は北薩・伊佐・霧島地区の6学校給食センターへパンを供給している。平成二十七年十二月の新築移転を機に、設備機械の更新と保守、衛生区域と作業動線の確定、工場内陽圧化と適正空調、全数チェック体制強化、そして従業員の意識改革を進め、①重量安定化と適正発酵による食味の向上、②毛髪・昆虫・残渣等の異物混入防止、③交差汚染遮断による食中毒発生防止等を着実に実行している。障害者就労支援施設の特性を生かして基本に忠実かつ真摯に作業に取り組み、給食センターのニーズに応じた安定品質のパン、そして子供達の記憶に残る美味しいパンの提供を通じ、地域に貢献しようと考えている。

学校給食パン製造事業には三つの逆風が吹いている。第一は児童生徒数の減少である。少子化の波は鹿児島県でも深刻で、当方で現在四千五百名分を受託しているが、年々百名分ずつ減少しているのが現状である。学校毎の仕分けをしていると複式学級の多いことに寂しい気持ちになる。第二に給食センターの地産地消の取り組みである。地産米を利用した米飯給食が増加しそのしわ寄せがパン給食減少に拍車をかけているのである。その取り組みは決して悪いことではないのだが、パン製造しか行っていない事業所にとっては深刻な問題なのである。第三は生産管理・品質管理コストの高騰である。学校給食は安心安全が当たり前。それを維持するには機械の保全や部品・薬剤等の購入が必須となる。

新葉学園の給食パンを食べた児童生徒が、その美味しさと安全性を良き思い出として成長し、故郷を、パンの様に暖かくふんわりと包み込んでくれる存在と思ってくれれば有り難い。

知的障害者関係施設親善球技大会

支援員 乙須 恒平

「天気大丈夫かな？」口々に聞かれる心配そうな声。四月二十三日の朝、見上げる空は生憎の曇り。今にも雨が降り出しそうな空の下、毎年恒例の施設親善球技大会が桜島にて開催されました。

今年は当学園からグラウンドゴルフに三チーム、ティーボール一チーム、ソフトバレーボール一チームが出場しました。大会が始まると天気の事より、目の前の試合に集中する選手たち。グラウンドゴルフはインとアウトの二回試合を行い、いかに打数を抑えるかがポイント。午前中に一試合行い、Aチームはホールインワンが連続しいきなりの首位発進。ティーボールは、予選二試合猛打炸裂！決勝進出がしかし、午後からの競技を前に突然の土砂降り…。みるみるうちにグラウンドに水が溜まり、事務局、施設関係者で協議した結果、午後からの競技を断念する事となりました。グラウンドゴルフは一試合目のスコアが決め手となりAチーム優勝、Bチーム四位、手作りパン工房しんようチーム五位という結果に。ティーボールは決勝戦を行う事ができず予選結果を元に得失点差の二位。体育館で行われたソフトバレーボールもチーム一丸となって奮闘しましたが、いきなり優勝候補の施設と対戦した事もあり、緊張からか思う様なプレーができず二試合行い予選敗退という結果となりました。雨の影響により二競技が続行できなかつた事は大変残念でしたが、大会

本番だけでなく限られた時間の中で練習を共にし、時間を共有した仲間と「チーム」として目標に向かって頑張る事で得た物は大きかったのではないかと思います。

優勝したグラウンドゴルフAチームの選手の方々は十月中旬に福岡県で開催される九州地区施設親善球技大会に出場できる権利を獲得しました。鹿児島県代表としての参加になりますが、気負わず大好きなグラウンドゴルフを楽しんで欲しいと思います。

本番だけでなく限られた時間の中で練習を共にし、時間を共有した仲間と「チーム」として目標に向かって頑張る事で得た物は大きかったのではないかと思います。



開会式



▲ ナイスゲーム



▲ さあ〜いくぞー!!

4/23

利用者 正岡 和成さん

去る四月二十三日に、毎年桜島で開催される施設球技大会が今年も行われ学園は三競技に参加しました。

今年は、天候が悪く、朝方に雨が降りそうな感じでしたが、何とか雨も降らずに全競技がスタートしました。自分が参加したグラウンドゴルフは四人一組でプレーをし、チームの一人がホールインワンを二回出して頑張ったので良い結果が出ました。

その他の競技では、ミニバレーで予選リーグを二試合しました。一勝一敗でしたが、得失点差で決勝リーグには行けませんでしたが、また、ティーボールは予選リーグで二勝して決勝進出をしました。

しかし、昼ごはんを食べている時に、心配していた雨が強くなって、午後からの競技は中止となり、ティーボールは予選リーグでの得失点差で準優勝、グラウンドゴルフは、午前中のスコアで優勝が決まりました。

グラウンドゴルフで、十月に福岡で行われる九州大会に選手として選ばれたら、頑張りたいと思います。

利用者 木原 剛さん

桜島で球技大会がありました。僕はティーボールに出ました。結果はじゅんゆうしよつで、とても良い試合が出来ました。今度は打つだけでなく、守りでもかたやくしたいです。来年はゆうしよつうして九州大会で、試合をしたいです。



▲ グラウンドゴルフ優勝しました \ (^o^) /



▲ チーム一丸となって頑張りました★



▲ ティーボールも準優勝と好成績を収めました♪

鹿児島県障害者スポーツ大会

5/15

支援員 松林 鉄志

利用者 立野 ほの香さん

去る五月十五日、鴨池陸上競技場にて第十回鹿児島県障害者スポーツ大会が開催されました。当日は、天候が良かったのですが日中の気温も上がり、選手にとっては厳しいコンディションだったのではないかと思います。しかし北薩地区の代表として拓洋会から男女計十二名の方が選ばれ、いざ競技が始まると皆の顔つきも変わり、手に汗握る素晴らしい大会でした。結果は金メダル六個、銀メダル五個、銅メダル五個を獲得する事ができ、この大会を通じて利用者の方々は他施設の方々と交流を深める事ができ、とても有意義な一日となりました。

初めての障害者スポーツ大会で、フライングディスクをしました。アキュラシーとディスタンスをしました。アキュラシーでは五メートルはなれた所から投げました。全部で十回投げましたが、風が強くて回もまどに入らなかつたです。ディスタンスでは二回練習をして、本番では三回投げました。一番よかつたのは三回目のきよりで、記録は二十メートル八十四センチで三位でした。とてもうれしかったです。



▲最後まで頑張れ〜(〇〇〇〇)



▲大接戦でした



▲他施設の利用者さんと力を合わせて!!

五月十五日に県障害者スポーツ大会が行われました。私は五十メートル走に出場しました。私は二度目の出場で、走る前に少し体をほぐしながらスタートを切りました。初めての二位で銀メダルを取りました。スタッフのそばに行くと「足が早いね」とほめてもらったのでとても嬉しかったです。また、来年も出場して頑張りたいと思います。来年こそは一位をねらいたいです。

利用者 陳内 唯さん



▲優勝目指して大ジャンプ



▲ちょっと一息(^^)旦

▲カメラ目線バッチリ(^-)-☆

利用者 敷根 美保さん
障害者スポーツ大会が五月十五日にありました。私は、百メートルと二百メートルにはしつてみごとふたつとも金メダルをとることができました。やみあがりて体調が良くなって、思うように走ることができまのでしたが、金メダルをふたつとれてとてもうれしかったです。陸上も走りたいけどバレーにせんねんするためには走れなくなるのがとても残念です。ほかのきょうぎでも頑張ります。



▲1位取ったぞ〜(笑)



▲☆☆姉妹で仲良くフィニッシュ☆☆





▲ 会場は満員



▲ プロ野球観戦に来ました～(^◇^)



プロ野球 パ・リーグ 公式試合観戦

● 4月9日

利用者

湯本 活貴さん

去る、四月九日、県立鴨池球場で行われた、福岡ソフトバンクホークスとオリックスブルーウェーブの試合を見に行きました。試合は、ソフトバンクが圧倒的にリードしていましたが、こちらの時間の都合によりグループホームに帰る事となりました。久しぶりに生で野球観戦が出来たので、とても楽しかったです。また、機会があったら是非観に行きたいと思っています。



▲ 内川選手、渋い\(\◎o◎)/!



▲ おっきな魚が獲れました(^o^)



▲ あともう少し!!



▲ 力を合わせてヨイショー!!ヨイショ!!

生活班地引網体験

支援員 坂口 梢

● 5月2日

去る五月二日、生活介護事業所レクリエーションとして江口浜で地引網体験をし、濱田酒造で昼食を摂り、いちき串木野市のニシムタで買い物をして帰って来ました。

当日は天候に恵まれ、皆さん準備万端で臨みました。初めて体験する方もおり、意気込みはバツチリ!地引網を運営している方の協力を頂き、「よいしょ!よいしょ!」と一斉に掛け声を掛け頑張りました。キス・ボラ・カニ等獲れましたが、分ける程の大漁にはならず……。翌日、数匹の魚を厨房関係者に調理して貰い、入所在園者のみで頂きました。お魚が回らなかつた方々、ごめんなさい。身がふんわり♪とても美味しいお魚でした♪寂しい結果にはなりませんが、利用者から「また網を引いてみたい」「楽しかった」「海に行けて良かった」等喜びの声が聞かれ、有意義なレクリエーションとなりました。

利用者 原 博美さん

地引網体験に初めて参加しました。漁協組合のかたがたの手伝いをもらいながらたくさんの方で網を引きましたが、あまり魚が取れませんでした。でも初めて網を引ける事ができてのしかなかったです。来年もきかいがあったら参加したいです。



▲ 運動後のご飯は最高でした



▲ ☆☆☆とても綺麗な砂浜☆☆☆



社会福祉施設等

新任研修

支援員 高橋 大輔

平成二十八年五月三十日、三十一日の二日間、「社会福祉施設等新任研修」がマリンプレスかごしまで行われました。一日目は、県人権同和対策課 研修専門員による「人権・同和問題」があり、はじめ、体罰や虐待を受ける子供・高齢者や知的障害者の人権問題を学び、どの様にしたら快適に過ごせるかを説明して頂きました。その後、(株)ヒューマンパワー、代表取締役社長 森山 重康氏による「新任研修の役割について」と題し、福祉サービスの論理と基本理念の理解、コンプライアンス・苦情・リスクの理解、地域におけるインフォーマルサービスの理解と連帯を学び、福祉サービス提供の目的や福祉職員としての基本理論について説明されました。二日目は、(株)HALビジネス 代表取締役 春田 尚子氏による「接遇の基本」について、接客・応対・挨拶の基本と訓練を学び敬語や言葉づかい、来客対応、電話応対の仕方を教えて頂きました。今回の研修を通して、福祉施設職員として学んだことを実践に活かせるように頑張っていきたいと思っています。



口腔ケアと訪問治療



しげなが歯科
下川 俊ドクター

最近、訪問診療への注目が高まりつつあります。その背景として高齢者の増加や日本人の口腔内の状況が変化していることがあげられます。数十年前と比較すると、日本が継続的に実施してきた口腔ケア等が奏功し、虫歯は減少傾向にあります。かわりに歯周病の罹患率が高くなっています。歯周病とは歯茎やその中の骨が口腔内由来の細菌が引き起こす炎症により破壊されていく病気です。それを防ぐためには口腔内のプラークと呼ばれる細菌の塊を除去する必要がありますが、高齢の方や障がいのある方は現実的に難しい面もあるかと思えます。私達歯科医療従事者は在宅・訪問歯科医療の需要に応え、口腔ケアがお口の中だけでなく全身の健康に与える影響を広く認知し、それらを守っていくことが自らの使命であると強く感じていきます。これからも施設利用者の方々とコミュニケーションをとり、より良い口腔内環境で生活して頂くために全力を尽くしてまいります。



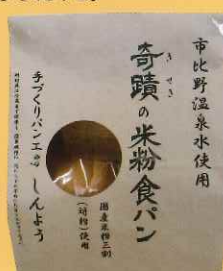
▲ 毎週、訪問歯科治療ありがとうございます。m(_ _)m

パン工場 だより

「奇蹟の米粉食パン」

支援員 鶴崎 祥一

こだわりの贅沢食パン登場。
市比野温泉水「薩摩の奇蹟」と手づくりパン工房しんようがコラボした商品「奇蹟の米粉食パン」を新発売しました。
超軟水天然アルカリ温泉水と米粉を贅沢に使用したふっくらもちもち新食感で食パンの常識を変える米粉食パンです。
皆様、是非御賞味下さい。



▲ まさに奇蹟的な美味しさです(^u^)

研修報告



栄養士 西田 かおり

六月二十三日川薩地区集団給食施設連絡協議会主催の研修会に出席致しました。
「食品の取扱いと衛生管理」と題した研修でした。
食中毒の予防についてお伝え致します。



- ① 持ち込まない (体調管理チェック、適切な手洗いなど)
 - ② 拡げない (調理場の清掃・消毒、トイレの清掃・消毒など)
 - ③ 加熱する (十分な加熱)
 - ④ 菌をつけない (こまめな手洗い、衛生手袋の使用など)
- 厨房内での衛生管理に努めることはもちろんですが、日常生活で基本となる手洗い・うがい、身の周りの清掃・消毒など利用者一人ひとりが意識づけて行っていくことが大切だと思いますので、私共職員も声掛けを行い、支援していききたいと思います。

思い出 アルバム

写真は楽しい活動の一部です



△ 第1回家族会



△ 山野事務員辞任式



△ 春季社会人バレーボール大会



△ B型利用者レクリエーション



△ 岡野旗ソフトボール大会 準優勝 (^o^)/



△ 総合防災訓練



△ ふくじ大会に向けダンスの練習 (^o^)/

社会福祉法人拓洋会 平成27年度決算報告書

【資金収支計算書】

(単位:円)

勘定科目	法人全体	障害者支援施設	就労継続支援事業所	共同生活援助事業所
		新葉学園	新葉学園	
事業活動収入計①	353,936,454	207,279,789	113,622,875	33,033,790
事業活動支出計②	324,787,721	192,138,504	103,493,260	29,155,957
事業活動資金収支差額③=①-②	29,148,733	15,141,285	10,129,615	3,877,833
施設整備等収入計④	60,000,000	50,000,000	10,000,000	0
施設整備等支出計⑤	468,543,832	442,169,240	21,526,992	4,847,600
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-408,543,832	-392,169,240	-11,526,992	-4,847,600
その他の活動収入計⑦	123,018,275	107,518,275	14,500,000	1,000,000
その他の活動支出計⑧	27,423,900	18,534,275	8,889,625	0
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	95,594,375	88,984,000	5,610,375	1,000,000
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	-283,800,724	-288,043,955	4,212,998	30,233
前期末支払資金残高⑪	417,215,859	393,003,629	12,901,441	11,310,789
当期末支払資金残高⑫=⑩+⑪	133,415,135	104,959,674	17,114,439	11,341,022

【事業活動計算書】

(単位:円)

勘定科目	法人全体	障害者支援施設	就労継続支援事業所	共同生活援助事業所
		新葉学園	新葉学園	
サービス活動収益計①	337,789,639	203,639,412	109,401,017	24,749,210
サービス活動費用計②	341,655,324	198,669,313	110,808,919	32,177,092
サービス活動増減差額③=①-②	-3,865,685	4,970,099	-1,407,902	-7,427,882
サービス活動外収益計④	16,146,815	3,640,377	4,221,858	8,284,580
サービス活動外費用計⑤	4,433,542	3,117,328	5,342	1,310,872
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	11,713,273	523,049	4,216,516	6,973,708
経常増減差額⑦=③+⑥	7,847,588	5,493,148	2,808,614	-454,174
特別収益計⑧	104,725,108	6,426,108	98,299,000	0
特別費用計⑨	394,690,011	337,724,932	56,965,079	0
特別増減差額⑩=⑧-⑨	-289,964,903	-331,298,824	41,333,921	0
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	-282,117,315	-325,805,676	44,142,535	-454,174
前期繰越活動増減差額⑫	137,186,227	74,419,910	-5,860,458	68,626,775
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	-144,931,088	-251,385,766	38,282,077	68,172,601
基本金取崩額⑭	0	0	0	0
その他の積立金取崩額⑮	399,935,000	394,435,000	4,500,000	1,000,000
その他の積立金積立額⑯	15,200,000	7,000,000	8,200,000	0
次期繰越活動増減差額⑰=⑬+⑭+⑮-⑯	239,803,912	136,049,234	34,582,077	69,172,601

【貸借対照表】

(単位:円)

勘定科目	法人全体	障害者支援施設	就労継続支援事業所	共同生活援助事業所	
		新葉学園	新葉学園		
資 産 の 部					
流動資産	166,618,590	121,702,064	27,907,379	17,009,147	
固定資産	基本財産	813,827,492	584,139,080	135,792,506	93,895,906
	その他の固定資産	233,238,433	144,486,571	55,740,509	33,011,353
資産の部合計	1,213,684,515	850,327,715	219,440,394	143,916,406	
負 債 の 部					
流動負債	52,882,529	26,810,533	15,838,191	10,233,805	
固定負債	225,196,250	174,347,525	16,338,725	34,510,000	
負債の部合計	278,078,779	201,158,058	32,176,916	44,743,805	
純 資 産 の 部					
基本金	225,633,000	178,533,000	47,100,000	0	
国庫補助金等特別積立金	368,968,824	285,587,423	83,381,401	0	
その他の積立金	101,200,000	49,000,000	22,200,000	30,000,000	
次期繰越活動増減差額	239,803,912	136,049,234	34,582,077	69,172,601	
純資産の部合計	935,605,736	649,169,657	187,263,478	99,172,601	
負債及び純資産の部合計	1,213,684,515	850,327,715	219,440,394	143,916,406	

利用者の皆様へ

この度、前副園長の高橋多恵子様より、園内を快適に移動出来る『カート』及び『簡易テント』と『テーブル』を寄贈して頂きました。仲の良い利用者同士と一緒にカートへ乗られたり、テント及びテーブルについてはイベントでのパン販売やスポーツ大会などで活用すると共に利用者の皆様の為に役立てていきたいと思っております。有り難うございました。



▲ これで移動も楽々～♪



▲ 大事に活用させていただきます(^-^)

給食委員会だより



この度の熊本地震と二連の九州地域での地震災害を受け、給食委員会において災害時における非常食の見直しを行いました。現状として、水を入れる事で簡単に出来る御飯（白・わかめ・しそなど）、カンパン、水などを常備しておりますが、災害の影響が長期にわたる事も想定し、再検討しました。現在の備蓄では御飯類が多く栄養に偏りがある為、バランスの取れた食料の調達、断水などの影響を考慮し、紙製の食器類及び調理員の不在時でも職員で調理出来る簡易的な保存食の購入をする方向で決定し、献立については一日三食×三日分に改め、今後の災害時に対応する予定です。



▲ 災害備蓄品

平成二十八年年度施設内研修

第一回

平成二十八年五月十二日(木)

テーマ『知っておきたいお金の話』

講師 鹿児島銀行 営業統括部

主任調査役 小田 様

鹿児島銀行 川内支店

中野 様

愛甲 様

是枝 様

第二回

平成二十八年七月七日(木)

テーマ『防災マニュアルについて』

講師 係長兼職業指導員

『感染症予防マニュアルについて』

准看護師兼生活支援員 山下 昌平

『知的障害者関係施設新任職員研修(伝達研修)』

生活支援員 谷口 美鈴

高橋 大輔



▲ 鹿児島銀行 小田様 外3名

永年勤続表彰

支援員 原田 仁

今回、永年勤続表彰を受賞する事が出来たのは、周囲の方々の支えはもちろんの事、支える側は私の私がいつも笑顔の利用者の皆様に支えられたおかげだと思っております。誌面を借りて感謝申し上げます。

今後も謙虚に、感謝の心を忘れずに利用者の皆様の支援に努めていきたいと考えております。



▲ ★今後の活躍に期待★

新利用者紹介



利用者 橋口 一己さん

はじめまして、橋口一己と申します。みんなと仲よくしながら、わからない事は支援員さんに聞いて仕事をがんばりたいと思います。

編集後記

今年猛暑の予報が出ているようです。

熱中症予防の為、こまめな水分補給などの体調管理が例年以上に必要となると思われれます。くれぐれもご注意ください。

さて、「たくようだより夏号」をお届けいたします。早いもので、今号で七十号となります。今回は春号以降の活動内容等の様子を中心に作成しています。

是非ご一読ください。

【平成二十八年年度広報委員会】

利用者 川元 初博さん・松崎 美香さん

職員 池田 俊彦・吉村 保・小川 淳

宇田 千鶴・今村 智美

(今村)

お知らせ

B型利用者として、当学園を通所利用されていた上園広和様ですが、6月3日の夜、不慮の事故により入院され、6月8日に逝去されました。心よりご冥福をお祈り致します。

<退園者> 内堀 伸矢さん(6月末)

平成28年熊本地震と一連の九州地域での地震災害において被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。少しでも被災された皆様のお役に立てればと思い、微力ながら当学園からも利用者様及び職員に声掛けを行い、義援金を募らせて頂きました。被災地の一日も早い復興をお祈りします。